

アンペックス、Eglin 空軍基地から IRIG 106 Chapter 10 レコーダを受注

アンペックスデータシステム社は、Eglin 空軍基地より、エアボーンレコーダシステムを受注した事を発表しました。基地内の、第 846 テストサポート飛行中隊での飛行試験用として、多数の miniR 700® ソリッドステートレコーダシステムを供給します。

miniR700®は、イーサネット経由で入ってくる高フレームレートのビデオ映像を、米空軍フライトテストグループの要求に応じて、Chapter 10 フォーマットで記録・保存します。

「miniR700®レコーダは、ミッション用途だけでなく、フライトテストデータや計測用として、コンパクトで高性能な標準ベースの航空機搭載データ収集テクノロジーを市場にもたらしました。また、Chapter 10 の規格は、Eglin 空軍基地が中心となって規格化し発展させたものです。従って彼らが我々のレコーダを採用したという事は、Ampex が最新の 2009 規格をコミットしたという事の実証です。」と、Ampex ビジネスデベロップメントマネージャー、Don Downing は述べています。

Ampex Data Systems 社 CEO の Lawrence Chiarella はこう話しています、「我々の Chapter 10 レコーダが Eglin 空軍基地に採用された事を非常に誇りに思っています。」

■アンペックス・ジャパン株式会社概要

会社名：アンペックス・ジャパン株式会社

代表取締役社長：柳生田一範

資本金：1億円

URL:<http://www.ampex.co.jp/>

■お問い合わせ

アンペックス・ジャパン株式会社 [コンタクト窓口](#)